

令和6年度

立江小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用する力の育成
- 学びを生活につなぎ、主体的に学習に向かう児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
横山利恵(教諭)	校長:高原俊英 教頭:稼勢浩子 教務主任:森本千寿子

校長

高原 俊英



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識技能は、定着している。 ●スキルアップタイムで長文読解の問題に取り組んできた結果、読解力が身についた児童が増えてきたが、身につけていない児童との二極化が顕著になった。	・単元テストや漢字テストで、クラス平均85点以上取ることができる。 ・「長文読解」や「書く」問題の意図をつかみ、取り組むことができる。	・間違えた問題を確認し、定着を図る。 ・スキルアップタイムなどで、「要約」「長文読解」など一つの学習課題を繰り返し連続して行う。 ・新聞を活用した学習の時間(NIE タイム)を充実させる。 ・個に応じた授業を工夫する。	・学力テストやステップアップテストの結果を見ると、漢字や言語、計算などの基礎的な学力は、よく身につけている。引き続き、朝の活動のスキルタイムや NIE タイムの充実を図りたい。	・単元テストや漢字テストで、全ての学年で平均85点以上取ることができた。 ・個人では単元により苦手意識のある児童はいるが、全体的に力をつけている。 ・難しい問題にもあきらめずに取り組む力もついてきている。	・問題の意図をつかむことに課題がある児童がいる。問題をしっかりイメージしながら読ませることや、ケアレスミスを減らすため、しっかり見直す習慣をつけたい。 ・習得した字を使えるよう、新出漢字は文字だけでなく文章で練習させる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●当てられると発表するが、自分から積極的に発表できる児童は少ない。 ●家庭でのアンケートでは61%が「読書をしていない」という結果だった。	・自分の気持ちや考えを伝え合う楽しさを実感し、進んで発表できる。 ・週に1時間以上読書をする。	・2人組・グループなど少人数から伝え合う場面を授業に取り入れる。 ・自分の考えを伝え合う楽しさを実感できる授業を工夫する。 ・何でも言い合える学級づくりをする。 ・週末読書や、読書の良さを学年だよりなどで伝える取り組みをする。 ・市立図書館と連携する。	・「話す・聞く」領域の問題の正答率が、他領域と比べてやや低い傾向にある。項目を整理しながら聞いたり、相手に伝えるように話したりする機会を増やしていく。 ・読書の機会をさらに増やし、語彙を豊かにできるよう心がける。	・少人数から伝え合う場面を授業で取り入れたことにより、発表を進んでする児童や話し合いを楽しめる児童が増えてきた。 ・課題に対し、自分の考えをもち、友達の考えと比べながら聞くことができるようになった。 ・自分の考えをタブレットの画面や、文章でまとめることが上手になった。	・次年度も伝え合う場面を意図的に授業の中で作っていく。 ・考えをもつことができても伝える力には課題がある。相手意識をもち、分かりやすく伝えるようにさせる。 ・集会活動を活発にし、大勢の前で発言する機会を増やす。 ・親子読書、外部機関による読み聞かせ等、読書に興味をもつ手立てを積極的に行う。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組む、できるまで努力することができる。 ●自分から課題を見つけ、よりよくしようとする能動性・主体性が弱い。	・自主勉ノートを仕上げていく過程を通して、学ぶ楽しさを実感する。 ・生活面・学習面で、主体的に活動することができる。	・楽しい授業、熱中できる授業を工夫する。 ・掲示板等で、工夫している自主勉ノートのモデルを示す。 ・地域の人材を活用するなどして、多様な学びができるようにする。 ・縦割り班活動や係活動で主体的に活動できる場をつくる。	・地域の人材を活用し、多様な学びにつなげることができている。さらに充実させたい。学ぶだけに終わらず、学んだことをみんなで伝え合うなどの学習も充実させたい。	・総合で子どもの興味関心のある課題をとりあげたことが自主的な学習に繋がった。 ・自分で課題を見つけて進んで学ぼうとする力はまだ弱い。 ・自主勉ノートで工夫して学習する児童が増えた。	・子どもが熱中して取り組めるような課題を設定するよう心がける。 ・外部人材の活用を次の発展学習へと繋げるようにしていく。(例)学んだことを他学年に伝える活動など。 ・自主勉ノートに積極的に取り組む具体的なシステムをつくる。

令和6年度 学力向上ロードマップ



